

## 環境省指定先進的高効率機器一覧

対象機器	基準
1. ガスエンジン ヒートポンプ	<p>室外機がガスエンジン圧縮機を用いるヒートポンプ方式のものうち、JIS B 8627:2006 に準じて効率が測定されている機器には期間成績係数(APF)および COP について、JIS B 8627:2015 に準じて効率が測定されている機器には期間成績係数(APFp)および COPp について下記いずれかの基準を満たすもの。なお、発電機能付きの製品等については APF・COP 等を測定できないため、その母型機の APF・COP 等によって判断するものとする。</p> <p><b>【JIS B 8627:2015 で効率が測定された機器】</b></p> <p>相当馬力数&lt;16HP : 1.53  16 HP≤相当馬力数&lt;20HP:1.70  20HP≤相当馬力数:1.85  (APFp・高位発熱量基準 寒冷地仕様以外)</p> <p>1.44  (APFp・高位発熱量基準 寒冷地仕様)</p> <p>相当馬力数&lt;10HP : 1.16  10HP≤相当馬力数:1.33  (COPp・高位発熱量基準 寒冷地仕様以外)</p> <p>1.36  (COPp・高位発熱量基準 寒冷地仕様)</p> <p><b>【JIS B 8627:2006 で効率が測定された機器】</b></p> <p>2.24  (APF・高位発熱量基準)  または  1.36  (COP・高位発熱量基準)</p>
2. 店舗・オフィス用エアコン	<p>冷凍機を組み込んだ空気調和機で、室外機（電動圧縮機を用いるヒートポンプ方式のもの）と、室内機（室内の温度を個別に設定できる機能を有するものに限る）を同時に設置する場合のものうち、個別制御ができない店舗・オフィス用途のもの。JIS B 8616 2015 に掲げる計算式に基づいて算出される通年エネルギー消費効率（APF）が以下の基準を満たすもの。なお、冷房能力が 16kW 以下の機器については、低 GWP 冷媒（R32 以下のもの）を利用したものに限る。</p>

	<p>冷房能力<math>\leq</math>4.0kW : 6.8  4.0kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>5.0kW : 6.6  5.0kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>6.3kW : 6.3  6.3kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>11.2kW : 6.5  11.2kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>16.0kW : 5.9  16.0kW<math>&lt;</math>冷房能力 : 5.3  (APF)</p>
3. 設備用エアコン	<p>電動圧縮機を用いるヒートポンプ方式の空気調和機で、1台の室外機に対し1台または複数台の室内機を接続することが可能なもののうち、主に工場向けのもの。通常、室内機は床置き型である。JIS B8616:2015 に掲げる計算式に基づいて算出される通年エネルギー消費効率 (APF) について下記の基準を満たすもの。</p> <p>冷房能力<math>\leq</math>14.0kW : 4.2  14.0kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>28.0kW : 4.5  28.0kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>56.0kW : 4.0  56.0kW<math>&lt;</math>冷房能力 : 3.3  (APF)</p>
4. ビル用マルチエアコン	<p>冷凍機を組み込んだ空気調和機で、室外機（電動圧縮機を用いるヒートポンプ方式のもの）と、複数の室内機（室内の温度を個別に設定できる機能を有するものに限る）を同時に設置する場合のもののうち、個別の制御が可能なビル用途のもの。JIS B 8616:2015 に掲げる計算式に基づいて通年エネルギー消費効率 (APF) について下記いずれかの基準を満たすもの。</p> <p>冷房能力<math>\leq</math>14.0kW : 5.5  14.0kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>16.0kW : 5.3  16.0kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>22.4kW : 5.8  22.4kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>28.0kW : 5.6  28.0kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>33.5kW : 6.0  33.5kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>40.0kW : 5.7  40.0kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>69.0kW : 5.8  69.0kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>80.0kW : 5.7  80.0kW<math>&lt;</math>冷房能力<math>\leq</math>101.0kW : 5.8  101.0kW<math>&lt;</math>冷房能力 : 5.0  (APF)</p>
5. 吸収式冷温水機、吸収式冷凍機	<p>臭化リチウム液、その他の吸収液を循環過程において2回以上再生するもののうち、冷凍能力または加熱能力を加熱源熱消費量（消費電力は含まない）で除して算出される成績係数 (COP) が以下の基準を満たすもの。</p> <p>冷房能力<math>&lt;</math>70RT : 1.12  70RT<math>\leq</math>冷房能力<math>&lt;</math>150RT : 1.30  150RT<math>\leq</math>冷房能力 : 1.35  (高位発熱量基準)</p>
6. 温水ボイラ	<p>燃料の燃焼や電気を熱源として、水を加熱して業務用の給湯や暖房用途の温</p>

	<p>水を発生させ、その温水を他に供給するもののうち、JIS B8222 陸用ボイラー熱勘定方式におけるボイラー効率の算定方式の入出熱法または熱損失法に準じて算出されたボイラー効率が以下の基準を満たすもの。</p> <p>出力&lt;1000kW : 105% 1000kW≤出力 : 88% (低位発熱量基準)</p>
7. 蒸気ボイラ	<p>ガス・石油等の燃料の燃焼や電気を熱源として、水を加熱して水蒸気を発生させ、その蒸気を他に供給するもののうち、JIS B 8222 陸用ボイラー熱勘定方式におけるボイラー効率の算定方式の入出熱法または熱損失法に準じて算出されたボイラー効率が以下の基準を満たすもの。</p> <p>蒸発量≤1500kg/h : 96% 1500kg/h&lt;蒸発量≤7200kg/h : 98% 7200kg/h&lt;蒸発量 : 94% (低位発熱量基準)</p>
8. 潜熱回収型給湯器	<p>排気中の潜熱を回収して再加熱するための機能を有する給湯器のうち、JIS S 2109 にて規定されている熱効率(給水温度を 40℃昇温させる時の給湯出力とガス熱量(高位発熱量基準)の比)から算出された熱効率が 0.95 以上であるもの</p>
9. 空気冷媒方式冷凍機	<p>空気の断熱膨張における温度低下により、-50~-100℃の空気を得る冷凍機のうち、定格能力を定格消費エネルギーで除して算出した数値(COP)が 0.4 以上であるもの。なお、COP は庫内温度:-60℃、庫容量:1000 トン程度の条件下において算出したものとし、付属する機器動力も加味した定格消費エネルギーを用いることとする。</p>
10. 冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機	<p>主に冷凍冷蔵倉庫用途として-40~-5℃程度の冷媒を庫内に循環させる冷凍機のうち、定格能力を定格消費エネルギーで除して算出した数値が以下の基準を満たすもの。</p> <p>-20℃&lt;保管温度帯≤10℃ 冷凍能力≤200kW : 3.76 200kW&lt;冷凍能力 : 3.37</p> <p>-40℃&lt;保管温度帯≤-20℃ 冷凍能力≤50kW : 1.80 50kW&lt;冷凍能力 : 2.10</p>
11. 空冷ヒートポンプチラー	<p>空気を熱源としたヒートポンプ方式の空冷式チリングユニットのうち、JISB8613:1994 または JRA4066:2014 に準じて算定された成績係数(COP)が以下の基準を満たすもの。</p> <p>冷却能力≤60.0kW : 2.87 60.0kW&lt;冷却能力≤90.0kW : 3.07 90.0kW&lt;冷却能力≤120.0kW : 3.50</p>

<p>120.0kW&lt;冷却能力≤220.0kW : 3.30</p> <p>220.0kW&lt;冷却能力 : 4.00 (標準仕様 冷水出入口温度差 5℃)</p> <p>3.41 (標準仕様 冷水出入口温度差 7℃)</p> <p>2.89 (寒冷地仕様)</p> <p>3.79 (寒冷地仕様・散水式)</p> <p>2.33 (ブライン仕様 ブライン入口 3℃、出口 0℃)</p> <p>冷却能力≤90.0kW : 2.45</p> <p>90.0kW&lt;冷却能力 : 2.30 (ブライン仕様 ブライン入口 0℃、出口-5℃)</p> <p>冷却能力≤60.0kW : 1.73</p> <p>60.0kW&lt;冷却能力 : 2.63 (ブライン仕様 ブライン入口-2℃、出口-5℃)</p> <p>冷却能力≤60.0kW : 1.87</p> <p>60.0kW&lt;冷却能力 : 2.14 (ブライン仕様 ブライン入口-2℃、出口-7℃)</p> <p>冷却能力≤90.0kW : 2.90</p> <p>90.0kW&lt;冷却能力 : 2.75 (ブライン仕様・散水式 ブライン入口 0℃、出口-5℃)</p> <p>冷却能力≤60.0kW : 2.60</p> <p>60.0kW&lt;冷却能力≤120.0kW : 3.30</p> <p>120.0kW&lt;冷却能力 : 3.00 (冷房専用 冷水出入口温度差 5℃)</p> <p>3.41 (冷房専用 冷水出入口温度差 7℃)</p> <p>4.60 (冷房専用 散水式 冷水出入口温度差 5℃)</p> <p>4.80 (冷房専用 散水式 冷水出入口温度差 7℃)</p>
---

	<p>冷却能力<math>\leq</math>60.0kW : 2.63  60.0kW<math>&lt;</math>冷却能力 : 2.41  (冷房専用・ブライン仕様 ブライン入口-2℃、出口-5℃)</p> <p>4.72  (散水式冷水出入口温度差 5℃)</p> <p>4.80  (散水式冷水出入口温度差 7℃)</p> <p>(いずれも COP)</p>
<p>12. 水冷ヒートポンプチラー</p>	<p>水を熱源としたヒートポンプ方式の水冷式チリングユニットのうち、JISB8613:1994 または JRA4066:2014 に準じて算定された成績係数 (COP) が以下の基準を満たすもの。</p> <p>冷却能力<math>\leq</math>80.0kW : 3.82  80.0kW<math>&lt;</math>冷却能力 : 5.02  (冷水出入口温度差 5℃)</p> <p>2.74  (ブライン仕様 ブライン入口 3℃、出口 0℃)</p> <p>冷却能力<math>\leq</math>60.0kW : 2.24  60.0kW<math>&lt;</math>冷却能力 : 2.55  (ブライン仕様 ブライン入口-3℃、出口-7℃)</p> <p>(いずれも COP)</p>
<p>13. ターボ冷凍機</p>	<p>電動圧縮機を用いるヒートポンプ方式の熱源機のうち JISB8621:2011 に掲げる計算式に基づいて算出される成績係数 (COP) もしくは期間成績係数 (IPLV) について下記いずれかの基準を満たすもの。ただし、オゾン破壊係数が 0 の冷媒を使用しているものに限る。</p> <p>冷凍能力<math>\leq</math>220USRT : 5.40  220USRT<math>&lt;</math>冷凍能力<math>\leq</math>500USRT : 5.96  500USRT<math>&lt;</math>冷凍能力<math>\leq</math>1000USRT : 6.12  1000USRT<math>&lt;</math>冷凍能力 : 6.03  (COP)</p> <p>冷凍能力<math>\leq</math>220USRT : 7.24  220USRT<math>&lt;</math>冷凍能力<math>\leq</math>500USRT : 8.05  500USRT<math>&lt;</math>冷凍能力<math>\leq</math>1000USRT : 8.50  1000USRT<math>&lt;</math>冷凍能力 : 8.09  (IPLV)</p>

<p>14. ヒートポンプ 給湯機</p>	<p>電動圧縮機を用いるヒートポンプ方式の給湯機で、自然冷媒を利用したもの のうち、JRA4060:2014に基づいて算出される年間標準貯湯加熱エネルギー 消費効率が下記いずれかの基準を満たすもの。</p> <p>標準仕様 加熱能力<math>\leq</math>20kW : 4.1 20kW<math>&lt;</math>加熱能力 : 3.9</p> <p>寒冷地仕様 加熱能力<math>\leq</math>20kW : 3.5 20kW<math>&lt;</math>加熱能力 : 3.3</p> <p>(年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率)</p>																																																																																																																																																																																					
<p>15. 高温水ヒート ポンプ</p>	<p>下水熱や工場排水、排ガス等の未利用熱を熱源として活用するヒートポンプ であり、水等の二次媒体を加熱する熱源機のうち、定格加熱能力を定格消費 エネルギーで除して算出した数値が以下の基準を満たすもの。なお、熱源や 供給方式、温水出口温度、熱源媒体入口温度、熱源媒体出口温度、温水出入 口温度差等によって定められた区分ごとに基準を設定する。</p> <table border="1" data-bbox="488 994 1430 2007"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="6">条件等 (温度条件について、X~YはX以上Y以下を、X~はX以上を、~YはY以下をそれぞれ意味する)</th> </tr> <tr> <th>熱源</th> <th>供給方式</th> <th>温水出口温度 (°C)</th> <th>熱源媒体入口温度 (°C)</th> <th>熱源媒体出口温度 (°C)</th> <th>温水出入口温度差 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>空気</td><td>循環式</td><td>65~70</td><td>16</td><td>12</td><td>5</td></tr> <tr><td>2</td><td>空気</td><td>循環式</td><td>65~70</td><td>25</td><td>21</td><td>5</td></tr> <tr><td>3</td><td>空気</td><td>循環式</td><td>65~70</td><td>25</td><td>21</td><td>10</td></tr> <tr><td>4</td><td>空気</td><td>一過式</td><td colspan="4">JRA4060:2014 に準じて算出</td></tr> <tr><td>5</td><td>水</td><td>循環式</td><td>65</td><td>20</td><td>15~17</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>水</td><td>循環式</td><td>65</td><td>30</td><td>25~30</td><td>5</td></tr> <tr><td>7</td><td>水</td><td>循環式</td><td>65</td><td>38~40</td><td>35</td><td>5</td></tr> <tr><td>8</td><td>水</td><td>循環式</td><td>65</td><td>17~30</td><td>7~20</td><td>10</td></tr> <tr><td>9</td><td>水</td><td>循環式</td><td>65</td><td>40</td><td>30</td><td>10</td></tr> <tr><td>10</td><td>水</td><td>循環式</td><td>75</td><td>20</td><td>15~17</td><td>5</td></tr> <tr><td>11</td><td>水</td><td>循環式</td><td>75</td><td>30</td><td>25~27</td><td>5</td></tr> <tr><td>12</td><td>水</td><td>循環式</td><td>75</td><td>40</td><td>35</td><td>5</td></tr> <tr><td>13</td><td>水</td><td>循環式</td><td>75</td><td>30</td><td>20</td><td>10</td></tr> <tr><td>14</td><td>水</td><td>循環式</td><td>75</td><td>35~40</td><td>30</td><td>10</td></tr> <tr><td>15</td><td>水</td><td>循環式</td><td>90</td><td>30</td><td>25</td><td>5</td></tr> <tr><td>16</td><td>水</td><td>循環式</td><td>90</td><td>40</td><td>35</td><td>5</td></tr> <tr><td>17</td><td>水</td><td>循環式</td><td>90</td><td>40</td><td>30</td><td>10</td></tr> <tr><td>18</td><td>水</td><td>循環式</td><td>90</td><td>17</td><td>7</td><td>10</td></tr> <tr><td>19</td><td>水</td><td>一過式</td><td colspan="4">JRA4060:2014 に準じて算出</td></tr> <tr><td>20</td><td>水空気</td><td>循環式</td><td>65</td><td>~20</td><td>~15</td><td>5</td></tr> <tr><td>21</td><td>水空気</td><td>循環式</td><td>75</td><td>17</td><td>7</td><td>10</td></tr> <tr><td>22</td><td>水空気</td><td>循環式</td><td>65</td><td>25</td><td>21</td><td>5</td></tr> <tr><td>23</td><td>水空気</td><td>一過式</td><td colspan="4">水熱源運転で JRA4060:2014 に準じて算出</td></tr> <tr><td>24</td><td>水空気</td><td>一過式</td><td colspan="4">空気熱源運転で JRA4060:2014 に準じて算出</td></tr> </tbody> </table>	区分	条件等 (温度条件について、X~YはX以上Y以下を、X~はX以上を、~YはY以下をそれぞれ意味する)						熱源	供給方式	温水出口温度 (°C)	熱源媒体入口温度 (°C)	熱源媒体出口温度 (°C)	温水出入口温度差 (°C)	1	空気	循環式	65~70	16	12	5	2	空気	循環式	65~70	25	21	5	3	空気	循環式	65~70	25	21	10	4	空気	一過式	JRA4060:2014 に準じて算出				5	水	循環式	65	20	15~17	5	6	水	循環式	65	30	25~30	5	7	水	循環式	65	38~40	35	5	8	水	循環式	65	17~30	7~20	10	9	水	循環式	65	40	30	10	10	水	循環式	75	20	15~17	5	11	水	循環式	75	30	25~27	5	12	水	循環式	75	40	35	5	13	水	循環式	75	30	20	10	14	水	循環式	75	35~40	30	10	15	水	循環式	90	30	25	5	16	水	循環式	90	40	35	5	17	水	循環式	90	40	30	10	18	水	循環式	90	17	7	10	19	水	一過式	JRA4060:2014 に準じて算出				20	水空気	循環式	65	~20	~15	5	21	水空気	循環式	75	17	7	10	22	水空気	循環式	65	25	21	5	23	水空気	一過式	水熱源運転で JRA4060:2014 に準じて算出				24	水空気	一過式	空気熱源運転で JRA4060:2014 に準じて算出			
区分	条件等 (温度条件について、X~YはX以上Y以下を、X~はX以上を、~YはY以下をそれぞれ意味する)																																																																																																																																																																																					
	熱源	供給方式	温水出口温度 (°C)	熱源媒体入口温度 (°C)	熱源媒体出口温度 (°C)	温水出入口温度差 (°C)																																																																																																																																																																																
1	空気	循環式	65~70	16	12	5																																																																																																																																																																																
2	空気	循環式	65~70	25	21	5																																																																																																																																																																																
3	空気	循環式	65~70	25	21	10																																																																																																																																																																																
4	空気	一過式	JRA4060:2014 に準じて算出																																																																																																																																																																																			
5	水	循環式	65	20	15~17	5																																																																																																																																																																																
6	水	循環式	65	30	25~30	5																																																																																																																																																																																
7	水	循環式	65	38~40	35	5																																																																																																																																																																																
8	水	循環式	65	17~30	7~20	10																																																																																																																																																																																
9	水	循環式	65	40	30	10																																																																																																																																																																																
10	水	循環式	75	20	15~17	5																																																																																																																																																																																
11	水	循環式	75	30	25~27	5																																																																																																																																																																																
12	水	循環式	75	40	35	5																																																																																																																																																																																
13	水	循環式	75	30	20	10																																																																																																																																																																																
14	水	循環式	75	35~40	30	10																																																																																																																																																																																
15	水	循環式	90	30	25	5																																																																																																																																																																																
16	水	循環式	90	40	35	5																																																																																																																																																																																
17	水	循環式	90	40	30	10																																																																																																																																																																																
18	水	循環式	90	17	7	10																																																																																																																																																																																
19	水	一過式	JRA4060:2014 に準じて算出																																																																																																																																																																																			
20	水空気	循環式	65	~20	~15	5																																																																																																																																																																																
21	水空気	循環式	75	17	7	10																																																																																																																																																																																
22	水空気	循環式	65	25	21	5																																																																																																																																																																																
23	水空気	一過式	水熱源運転で JRA4060:2014 に準じて算出																																																																																																																																																																																			
24	水空気	一過式	空気熱源運転で JRA4060:2014 に準じて算出																																																																																																																																																																																			

区分	基準 (COP)
1	3.09
2	2.9
3	3.4
4	3.8
5	3.11
6	2.8
7	3.0
8	3.2
9	4.7
10	2.1
11	2.2
12	4.0
13	3.0
14	3.8
15	2.5
16	3.2
17	3.0
18	2.75
19	4.3
20	2.9
21	2.05
22	2.9
23	3.9
24	4.1

  

16. 熱風ヒートポンプ	<p>高温の熱風を発生させる装置であり、自然冷媒を用いたヒートポンプ方式のもののうち、定格加熱能力を定格消費エネルギーで除して算出した数値が3.44以上であるもの。なお、算出に当たっては、空気入口温度 20℃、熱風供給温度 100℃、熱源水入口温度 30℃、熱源水出口温度 25℃を前提条件とする。</p>
17. 蒸気発生ヒートポンプ	<p>蒸気を発生させる装置であり、ヒートポンプ方式のものうち、定格加熱能力を定格消費エネルギーで除して算出した数値が以下の基準を満たすもの。なお、算出に当たっては、蒸気圧力、熱源水入口温度、熱源水出口温度を使用条件に応じて以下のとおり設定することを前提条件とする。</p> <p>蒸気圧力 0.1MpaG、熱源水入口温度 65℃、熱源水出口温度 60℃ : 3.53  蒸気圧力 0.1MpaG、熱源水入口温度 80℃、熱源水出口温度 70℃ : 3.50  蒸気圧力 0.6MpaG、熱源水入口温度 70℃、熱源水出口温度 65℃ : 2.45  (COP)</p>
18. 蒸気再圧縮装置	<p>産業プロセス等で利用された排熱を回収し、循環式の供給方式を用いるヒートポンプのうち、システム消費電力 (kW) を吐出蒸気量 (kg/h) で割って</p>

	<p>算出する消費電力量 (kWh/kg) が以下の基準を満たすもの。なお、算出に当たっては、吐出圧力、吐出蒸気量、給水温度を使用条件に応じて以下のとおり設定することを前提条件とする。</p> <p>吐出圧力：0.1MpaG 以上 0.2MpaG 以下、吐出蒸気量：1.0t/h 以上 2.0t/h 以下、給水温度：80℃：0.067  吐出圧力：0.4MpaG 以上、吐出蒸気量：1.0t/h 以上 1.5t/h 以下、給水温度：80℃：0.085  吐出圧力：0.1MpaG 以上 0.3MpaG 以下、吐出蒸気量：3.0t/h 以上、給水温度：80℃：0.064  (kWh/kg)</p>
19. 誘導モータ	<p>固定子巻線に交流電流を流して回転磁界をつくり、電磁誘導によって回転子巻線に誘導電流を流し、それと磁界との作用により回転トルクを発生させるモータのうち JISC4034-2-1 に準拠して算定された効率値が以下の基準を満たすもの。なお、算出にあたっては極数：4 極、周波数：60Hz における数値とする。</p> <p>容量 ≤ 2.2kW：89.9  2.2kW &lt; 容量 ≤ 10.0kW：91.8  10.0kW &lt; 容量 ≤ 22.0kW：93.4  22.0kW &lt; 容量 ≤ 37.0kW：94.7  37.0kW &lt; 容量：95.8  (%)</p>
20. 永久磁石同期モータ	<p>回転子に永久磁石 (PM) を使用した同期モータのうち、JISC4034-2-1 に準拠して算定された効率値が以下の基準を満たすもの。</p> <p>容量 ≤ 3.0kW：90.4  3.0kW &lt; 容量 ≤ 6.5kW：92.8  6.5kW &lt; 容量 ≤ 45.0kW：94.6  45.0kW &lt; 容量：96.5  (%)</p>
21. 変圧器	<p>電磁誘導を利用して交流電圧を昇降させる装置のうち、無負荷損と負荷損に負荷率の自乗を足して算出される数値 (全損失 W) が以下の基準を満たす (基準以下) ものとする。</p> <p>【油入変圧器、単相】  (50Hz)</p> <p>容量 ≤ 10kVA：58  10kVA &lt; 容量 ≤ 20kVA：96  20kVA &lt; 容量 ≤ 30kVA：129  30kVA &lt; 容量 ≤ 50kVA：190  50kVA &lt; 容量 ≤ 75kVA：210  75kVA &lt; 容量 ≤ 100kVA：266  100kVA &lt; 容量 ≤ 150kVA：367</p>



	<p>150kVA &lt; 容量 ≤ 200kVA : 465  200kVA &lt; 容量 ≤ 300kVA : 615  300kVA &lt; 容量 ≤ 500kVA : 848  (W)</p> <p>(60Hz)  容量 ≤ 10kVA : 55  10kVA &lt; 容量 ≤ 20kVA : 93  20kVA &lt; 容量 ≤ 30kVA : 125  30kVA &lt; 容量 ≤ 50kVA : 182  50kVA &lt; 容量 ≤ 75kVA : 202  75kVA &lt; 容量 ≤ 100kVA : 262  100kVA &lt; 容量 ≤ 150kVA : 340  150kVA &lt; 容量 ≤ 200kVA : 445  200kVA &lt; 容量 ≤ 300kVA : 596  300kVA &lt; 容量 ≤ 500kVA : 835  (W)</p> <p>【油入変圧器、三相】  (50Hz)  容量 ≤ 20kVA : 129  20kVA &lt; 容量 ≤ 30kVA : 168  30kVA &lt; 容量 ≤ 50kVA : 244  50kVA &lt; 容量 ≤ 75kVA : 275  75kVA &lt; 容量 ≤ 100kVA : 332  100kVA &lt; 容量 ≤ 150kVA : 440  150kVA &lt; 容量 ≤ 200kVA : 550  200kVA &lt; 容量 ≤ 300kVA : 734  300kVA &lt; 容量 ≤ 500kVA : 1,063  500kVA &lt; 容量 ≤ 750kVA : 1,930  750kVA &lt; 容量 ≤ 1000kVA : 2,358  1000kVA &lt; 容量 ≤ 1500kVA : 3,258  1500kVA &lt; 容量 ≤ 2000kVA : 4,265  (W)</p> <p>(60Hz)  容量 ≤ 20kVA : 126  20kVA &lt; 容量 ≤ 30kVA : 165  30kVA &lt; 容量 ≤ 50kVA : 236  50kVA &lt; 容量 ≤ 75kVA : 257  75kVA &lt; 容量 ≤ 100kVA : 310  100kVA &lt; 容量 ≤ 150kVA : 420  150kVA &lt; 容量 ≤ 200kVA : 523  200kVA &lt; 容量 ≤ 300kVA : 685  300kVA &lt; 容量 ≤ 500kVA : 1,001</p>
--	--

500kVA < 容量 ≤ 750kVA : 1,850  
750kVA < 容量 ≤ 1000kVA : 2,300  
1000kVA < 容量 ≤ 1500kVA : 3,208  
1500kVA < 容量 ≤ 2000kVA : 4,118  
(W)

**【モールド変圧器、単相】**  
(50Hz)

容量 ≤ 10kVA : 75  
10kVA < 容量 ≤ 20kVA : 118  
20kVA < 容量 ≤ 30kVA : 162  
30kVA < 容量 ≤ 50kVA : 231  
50kVA < 容量 ≤ 75kVA : 197  
75kVA < 容量 ≤ 100kVA : 228  
100kVA < 容量 ≤ 150kVA : 316  
150kVA < 容量 ≤ 200kVA : 396  
200kVA < 容量 ≤ 300kVA : 519  
300kVA < 容量 ≤ 500kVA : 787  
(W)

(60Hz)

容量 ≤ 10kVA : 72  
10kVA < 容量 ≤ 20kVA : 113  
20kVA < 容量 ≤ 30kVA : 148  
30kVA < 容量 ≤ 50kVA : 218  
50kVA < 容量 ≤ 75kVA : 186  
75kVA < 容量 ≤ 100kVA : 229  
100kVA < 容量 ≤ 150kVA : 291  
150kVA < 容量 ≤ 200kVA : 372  
200kVA < 容量 ≤ 300kVA : 521  
300kVA < 容量 ≤ 500kVA : 796  
(W)

**【モールド変圧器、三相】**  
(50Hz)

容量 ≤ 20kVA : 162  
20kVA < 容量 ≤ 30kVA : 197  
30kVA < 容量 ≤ 50kVA : 296  
50kVA < 容量 ≤ 75kVA : 251  
75kVA < 容量 ≤ 100kVA : 343  
100kVA < 容量 ≤ 150kVA : 448  
150kVA < 容量 ≤ 200kVA : 474  
200kVA < 容量 ≤ 300kVA : 630  
300kVA < 容量 ≤ 500kVA : 904  
500kVA < 容量 ≤ 750kVA : 1,873

	<p>750kVA&lt;容量≤1000kVA : 2,305  1000kVA&lt;容量≤1500kVA : 4,220  1500kVA&lt;容量≤2000kVA : 5,275  (W)</p> <p>(60Hz)  容量≤20kVA : 161  20kVA&lt;容量≤30kVA : 193  30kVA&lt;容量≤50kVA : 291  50kVA&lt;容量≤75kVA : 247  75kVA&lt;容量≤100kVA : 313  100kVA&lt;容量≤150kVA : 432  150kVA&lt;容量≤200kVA : 484  200kVA&lt;容量≤300kVA : 640  300kVA&lt;容量≤500kVA : 892  500kVA&lt;容量≤750kVA : 1,888  750kVA&lt;容量≤1000kVA : 2,323  1000kVA&lt;容量≤1500kVA : 4,158  1500kVA&lt;容量≤2000kVA : 5,057  (W)</p>
22. コージェネレーション	<p>ガス・石油等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収する熱電併給システムのうち JIS B 8121 コージェネレーションシステムに準じて算出された総合効率（発電端）又は発電効率について下記いずれかの基準を満たすもの。  （総合効率・低位発熱量基準）  82%  （発電効率・低位発熱量基準）  41%</p>
23. LED ベースライト照明器具（ストレート）	<p>発行ダイオード（LED）を光源に使用した 直管蛍光灯相当サイズのベースライト照明器具で、電気用品安全法の下での PSE マークが付与されているもののうち、定格光束を定格消費電力で除して算出した数値が 180.0[lm/W]以上のもの。</p>
24. LED ベースライト照明器具（32 形/45 形蛍光灯スクエアタイプ）	<p>発行ダイオード（LED）を光源に使用した 32 形または 45 形蛍光灯相当のスクエアタイプのベースライト照明器具で、電気用品安全法の下での PSE マークが付与されているもののうち、定格光束を定格消費電力で除して算出した数値が以下の基準を満たすもの。  45 形 : 147.2 (lm/W)  32 形 : 146.7 (lm/W)</p>
25. 電子計算機（サーバ型）	<p>電子計算機であり、サーバ型のもののうち、省エネ法における区分毎に、消費電力を複合理論性能で除して算出した数値が以下の基準を満たす（基準以下）もの。</p>

	A 区分 : 1,418 B 区分 : 2,346 C 区分 : 1.3 D 区分 : 1.3 E 区分 : 3.93 F 区分 : - G 区分 : - H 区分 : - I 区分 : 0.15 J 区分 : 0.246 K 区分 : 0.65 L 区分 : 0.39
26. 業務用冷凍冷蔵庫	レストランの厨房やスーパーマーケットのバックヤード等に使用される業務用の冷凍冷蔵庫のうち、JISB8630(日本工業規格)に準じて算出されたエネルギー消費効率 kWh/年 (機器が1年間に消費する電力量) が以下の基準を満たすもの。ただし、縦型は奥行 800 mmの製品を、横型は奥行 600 mmの製品をベースに設定しているため、その他の奥行の製品を水準値と比較する場合は、以下の通り補正した容積帯における水準値を参照することとする。  縦型： 環境省指定先進的高効率機器 における参照容積帯 = 800[mm] / 奥行 [mm] × 容積 [L] 横型： 環境省指定先進的高効率機器 における参照容積帯 = 600[mm] / 奥行 [mm] × 容積 [L]  <b>【縦型冷蔵庫】</b> 容量 ≤ 700L : 440 700L < 容量 ≤ 1,200L : 520 1,200L < 容量 : 730  <b>【横型冷蔵庫】</b> 容量 ≤ 250L : 370 250L < 容量 ≤ 350L : 440 350L < 容量 ≤ 450L : 490 450L < 容量 : 540  <b>【縦型冷凍冷蔵庫】</b> (冷凍室 1 室) 容量 ≤ 1,200L : 1,460 1,200L < 容量 : 1,680 (冷凍室 2 室) 容量 ≤ 900L : 1,580 900L < 容量 ≤ 1,200L : 1,780 1,200L < 容量 : 1,970

	<p>【横型冷凍冷蔵庫】  容量≤250L : 1,340  250L&lt;容量≤350L : 1,530  350L&lt;容量 : 1,900</p> <p>【縦型冷凍庫】  容量≤700L : 1,320  700L&lt;容量≤900L : 1,850  900L&lt;容量≤1,200L : 2,120  1,200L&lt;容量≤1,500L : 2,630  1,500L&lt;容量 : 3,410</p> <p>【横型冷凍庫】  容量≤250L : 1,060  250L&lt;容量≤350L : 1,250  350L&lt;容量 : 1,500</p>
27. 工業炉用バーナ	<p>セラミック、電子部品、金属、ガラス、ガス、粉体などを所定の温度で加熱、焼結、溶解、熱処理するため設備（工業炉）における燃焼装置のうち、炉の種類ごとに設定した排ガス回収率の水準を満たす炉に設置されたもの。</p> <p>溶解炉:85.0%  熱処理炉:80.6%  加熱炉:80.0%  ガス焼却炉:90.0%</p>

(備考)

- ※ 各機器において電源周波数50Hz 及び60Hz により効率が異なる場合で、本表中に特段の指定が無い場合は、いずれかが基準となる水準を満たしていれば対象機器となる。
- ※ 冷温同時取出しを行うヒートポンプ等については、(冷却能力+加熱能力)/消費電力で求められる効率が、該当する機器区分の基準値を満たしている場合には対象となる。
- ※ この一覧表に記載された有効数字によって環境省指定先進的高効率機器水準を満たすものか判断することとする（例：出力1000kWを下回る温水ボイラの水準値は105%であるが、JIS B 8222 陸用ボイラ—熱勘定方式におけるボイラ効率の算定方式の入出熱法に準じて算出されたボイラ効率が104.5%である機器は、四捨五入すると105%となるため、基準を満たす）。